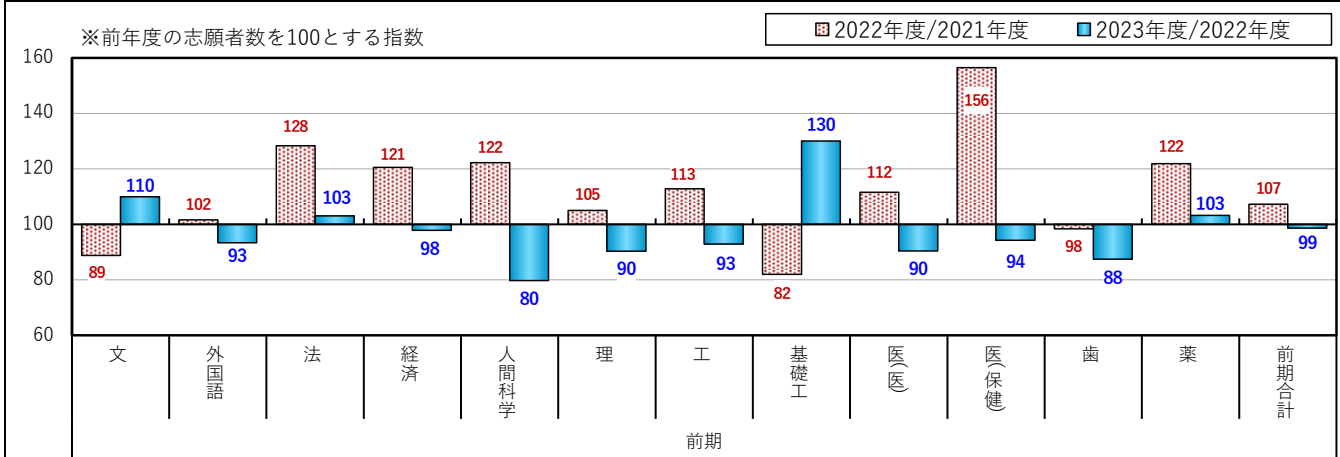


大阪大：大学全体では微減、増加は4学部のみ、3学部を除き前年度と逆の増減 前期：-103人



主な入試変更点 募集人員：医(医)…<前>95人→92人

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期のみの募集で、103人(99)の微減で2年ぶりの減少。文理別では、文系は105人(97)のやや減少、理系は2人(100)の微増のみで前年度並。学部別(医は学科別)では、増加は基礎工(130)、文(110)、薬(103)、法(103)の4学部のみ。他はいずれも減少で、特に人間科学(80)は大幅減少。また、法、薬は連続増加、歯は連続減少だが、他はいずれも前年度と逆の増減。

<前期日程>

- 文(110)は、前年度減少の反動で増加。
- 外国語(93)は、系統への低い人気もあってやや減少で、志願者数は6年ぶりに1,200人を下回った。専攻別では、25専攻中で減少が15専攻、増加が10専攻。
- 法(103)は、やや増加で3年連続増加。学科別では、(法)(115)は大幅増加で3年連続増加。一方で、(国際公共政策)(75)は前年度大幅増加の反動で大幅減少で、募集人員が72人になった2017年度以降では志願者数は最少。
- 経済(98)は、前年度大幅増加の反動は小さく、微減。
- 人間科学(80)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 理(90)は、減少。志願者数は5年ぶりに600人を下回った。学科・コース別では、(生物科学/生命理学)(121)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、(生物科学/生命科学)(105)はやや増加で3年連続増加。一方で、(数)(82)、(化)(84)はいずれも前年度増加の反動で大幅減少、(物理)(89)は前年度やや増加の反動で減少。
- 工(93)は、前年度増加の反動でやや減少。学科別では、(応用理工)(87)、(電子情報工)(88)はいずれも前年度大幅増加の反動で減少。(応用自然科学)(95)はやや減少だが3年連続減少。一方で、(地球総合工)(107)は2年連続減少の反動でやや増加。(環境・エネルギー工)(101)は前年度大幅増加の反動はなく前年度並。
- 基礎工(130)は、大幅減少の反動で大幅増加。学科別では、前年度全ての学科で減少したが、一転して(化学応用科学)(154)、(電子物理科学)(133)、(システム科学)(127)、(情報科学)(119)と4学科全てが大幅増加。
- 医(医)(90)は、減少。2019年度以降は反動による増減が継続。
- 医(保健)(94)は、前年度大幅増加の反動は小さく、やや減少。専攻別では、前年度は3専攻全てが大幅増加したが、(保健/看護学)(85)は大幅減少、(保健/放射線技術科学)(95)はやや減少。一方で、(保健/検査技術科学)(109)は2年連続増加。
- 歯(88)は、前年度の微減に引き続き2年連続減少。
- 薬(103)は、6年制のみの募集。系統への高い人気から前年度大幅増加の反動はなく、やや増加で2年連続増加。しかしながら、志願倍率は3倍には達しなかった。